

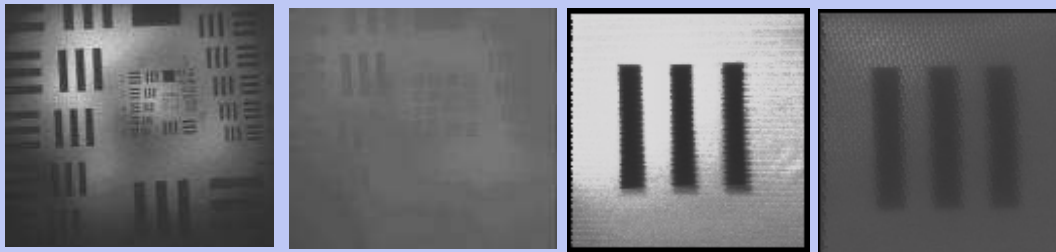


散乱物体内における対象物の可視化のための走査一致測定法

キーワード 非破壊測定、散乱物体、可視化、走査一致測定法

研究内容の概要： 光を散乱する物体内の測定対象物を可視化する。この方法は光散乱が大きな問題となる生体の測定や光CTによる生体の測定を可能にしました。

自動化応力解析法



(a)

(b)

(c)

(d)

ミルク溶液内のテストパターンの可視化:

- (a) ミルク濃度 0.01%(通常の測定方法) (b) ミルク濃度 0.05%(通常の測定方法)
 (c) ミルク濃度 0.10%(走査一致測定法) (d) ミルク濃度 0.15%(走査一致測定法)

特長／効果

- 光を利用するため放射線被爆などの問題がない。
- 散乱物体内の測定を CCD カメラにより行うので装置が簡単である。

利用／用途

- 生体の測定や光 CT による生体の測定に可能
- 光を利用する非破壊検査

知的財産権等情報

理工学部 機械工学学科		木原 利喜
特許出願	特開 2007-212144	http://www.mec.kindai.ac.jp/
論文等	0 編	

連絡先： 近畿大学 リエゾンセンター(KLC) 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1
 TEL:06-6721-2332 FAX:06-6722-0300
 e-mail: klc@itp.kindai.ac.jp URL: http://ccpc01.cc.kindai.ac.jp/KLC/index.html